



明日の医療を拓く”医療情報の標準化”
HELICS協議会は医療情報の標準化を推進します！

第43回医療情報学連合大会 (第24回日本医療情報学会学術大会) チュートリアルA-1
HELICS協議会チュートリアル

HELICS協議会の取組

2023年11月22日 (水) 13時00分～14時30分
於 B会場 (神戸ファッションマート9階 EX1-A)

一般社団法人医療情報標準化推進協議会 (HELICS協議会)
代表理事 岡田 美保子



明日の医療を拓く”医療情報の標準化”
HELICS協議会は医療情報の標準化を推進します！

- 1.HELICS標準化指針
- 2.HELICS協議会の会員と組織
- 3.HELICS医療情報標準化指針
- 4.国際的標準化組織とHELICS
- 5.国内医療情報標準のハブとして

HELICS標準化指針

- HELICS協議会会員および会員以外から標準規格をHELICS協議会標準化指針に申請
- HELICS協議会は評価審査を行い、我が国の医療情報分野に適用し利用することが望ましい標準規格をHELICS標準化指針（HELICS指針）として定める

厚生労働省標準規格

- 厚生労働省標準規格の制定に際しては「標準に関する関係者合意を形成しうる団体」としてHELICS協議会を選定
- 厚生労働省は標準に関する関係者の合意のもとに定められた標準規格を保健医療分野の標準規格として認定し推奨する施策を進めている

HELICS協議会 一般社団法人医療情報標準化推進協議会への入会のご案内

<http://helics.umin.ac.jp/joinHelics.html>

HELICS協議会 定款「第3章 会員」、定款施行規則「第2章 会員」

	会員の種別	会費	権利
共通	本会の目的に賛同する	会費は一口5万円	
正会員 A	保健医療福祉分野に関わる標準規格を自ら作成、維持管理、普及推進できる団体	会費を2口以上支払う法人格をもった団体	役員および委員会の委員を選出できる
正会員 B	保健医療福祉分野に関わる標準規格を普及推進でき、正会員 A の推薦に基づき入会	会費を1口以上支払う団体	委員会の委員を選出できる
賛助会員	主として作成された標準および調査研究結果を入手するために入会した団体または個人	主として作成された標準および調査研究結果を入手するために入会した団体または個人	

HELICS協議会

HELICS協議会 会員

日本HL7協会 (HL7-J)	一般社団法人医療データ活用基盤整備機構 (IDIAL)	NPO法人MedXMLコンソーシアム (MedXML)	一般財団法人流通システム開発センター (GS-1)	公益社団法人日本放射線腫瘍学会 (JASTRO)	一般社団法人日本IHE協会 (IHE-J)	一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会 (IAHIS)	公益社団法人日本放射線技術学会 (JSRT)	一般社団法人日本画像医療システム工業会 (JIRA)	一般社団法人日本医療情報学会 (JAMI)	公益社団法人日本医学放射線学会 (JRS)	一般財団法人医療情報システム開発センター (MEDIS-DC)
A会員 (11団体/組織)											B会員

HELICS協議会 役員 (◎代表理事 ○副代表理事)

理事
山本隆一、山上浩志 (医療情報システム開発センター)
本田憲業、立石宇貴秀 (日本医学放射線学会)
下邨雅一、横井英人 (日本医療情報学会)
高野博明、上田智 (日本画像医療システム工業会)
奥田保男、坂本 博 (日本放射線技術学会)
田中利夫、○光城 元博 (保健医療福祉情報システム工業会)
関昌佳、向井まさみ (日本IHE協会)
中村正和、有賀 拓郎 (日本放射線腫瘍学会)
落合慈之、前田 秀 (一流通システム開発センター)
桑直人 (MedXMLコンソーシアム)
◎岡田美保子、中川肇 (医療データ活用基盤整備機構)

監事
鈴木真人 (日本画像医療システム工業会)
松田恵雄 (日本放射線技術学会)

HELICS協議会事務局 佐々木文夫(MEDIS-DC)、谷口浩一(JAHIS)

「医療情報標準化指針」一覧

受付番号	標準規格	提出団体	申請日	採択日	厚労省標準
HS001	医薬品HOTコードマスター	(一財) 医療情報システム開発センター	2002/03/04	2003/05/23	2010/03/31
HS005	ICD10対応標準病名マスター	(一財) 医療情報システム開発センター	2004/06/16	2004/12/28	2010/03/31
HS007	患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書 (患者への情報提供)	日本HL7協会	2006/03/28	2007/03/16	2010/03/31
HS008	診療情報提供書 (電子紹介状)	日本HL7協会	2007/12/26	2008/09/01	2010/03/31
HS009	IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」および その運用指針	(一社) 日本医療情報学会	2008/01/07	2008/12/01	2010/03/31
HS011	医療におけるデジタル画像と通信 (DICOM) (「HS004: DICOM規格」からの改訂版)	(一社) 日本画像医療システム工業会	2009/08/06	2010/01/25	2010/03/31
HS012	JAHIS臨床検査データ交換規約 (「HS002:JAHIS 臨床検査データ交換規約Ver.2.0」からの改訂版)	(一社) 保健医療福祉情報システム工業会	2009/12/07	2010/02/10	2010/03/31
HS013	標準歯科病名マスター	(一財) 医療情報システム開発センター	2009/12/18	2010/09/20	2011/12/21
HS014	臨床検査マスター	(一財) 医療情報システム開発センター	2009/12/18	2011/01/31	2011/12/21
HS016	JAHIS放射線データ交換規約	(一社) 保健医療福祉情報システム工業会	2011/03/08	2011/09/29	2011/12/21
HS017	HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録 情報連携指針 (JJ1017指針)	(公社) 日本放射線技術学会	2011/04/19	2011/12/16	2012/03/23

「医療情報標準化指針」一覧 - 続き

受付番号	標準規格	提出団体	申請日	採択日	厚労省
HS022	JAHIS処方データ交換規約	(一社) 保健医療福祉情報システム工業会	2013/10/09	2014/12/16	2016/03/28
HS024	看護実践用語標準マスター	(一財) 医療情報システム開発センター	2014/11/04	2016/02/12	2016/03/28
HS026	SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン	(一社) 日本医療情報学会	2015/09/14	2016/02/19	2016/03/28
HS027	処方・注射オーダ標準用法規格	(一社) 日本医療情報学会	2016/03/18	2016/09/09	2018/05/21
HS028	ISO 22077-1:2022保健医療情報 - 医用波形フォーマット - パート1: 基本規格 (HS010から更新)	(一財) 医療情報システム開発センター	2016/03/31	2016/04/13	2010/03/31
HS029	患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター	日本クリニカルパス学会、日本医療情報学会推薦	2016/11/14	2019/01/22	未定
HS030	データ入力用書式取得・提出に関する仕様 (RFD)	日本IHE協会	2018/06/18 改訂 2019/01/08	2019/05/09	2019/10/16
HS031	地域医療連携における情報連携基盤技術仕様 (「HS023、HS025: 地域医療連携における情報連携基盤技術仕様」からの改訂版)	(一社) 日本IHE協会	2016/12/06	2017/02/10	2016/03/28
HS032	HL7 CDAに基づく退院時サマリー規約	日本HL7協会	2018/01/08	2019/06/20	2019/10/16
HS033	標準歯式コード仕様	(一財) 医療情報システム開発センター	2018/03/22	2018/10/02	2019/10/16
HS034	口腔診査情報標準コード仕様	(公社) 日本歯科医師会、(一財) 医療情報システム開発センター推薦	2018/12/12	2019/12/19	2021/03/26

受付番号	標準規格	提出団体	申請日	採択日	厚労省
HS035	医療放射線被ばく管理統合プロファイル	日本IHE協会	2019/05/30	2020/05/7	2021/03/26
HS036	処方情報HL7 FHIR記述仕様	日本医療情報学会	2021/09/21	2022/02/28	2022/03/24
HS037	健康診断結果報告書HL7 FHIR記述仕様	日本医療情報学会	2021/09/21	2022/02/28	2022/03/24
HS038	診療情報提供書HL7 FHIR記述仕様	日本HL7協会、日本医療情報学会	2021/10/10	2022/02/28	2022/03/24
HS039	退院時サマリーHL7 FHIR記述仕様	日本HL7協会、日本医療情報学会	2021/10/10	2022/02/28	2022/03/24
HS040	「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイド	日本画像医療システム工業会、保健医療福祉情報システム工業会	2021/10/25	2022/09/02	

※HELICS協議会会員以外の標準化団体が指針に申請される場合はHELICS協議会会員の推薦状が必要

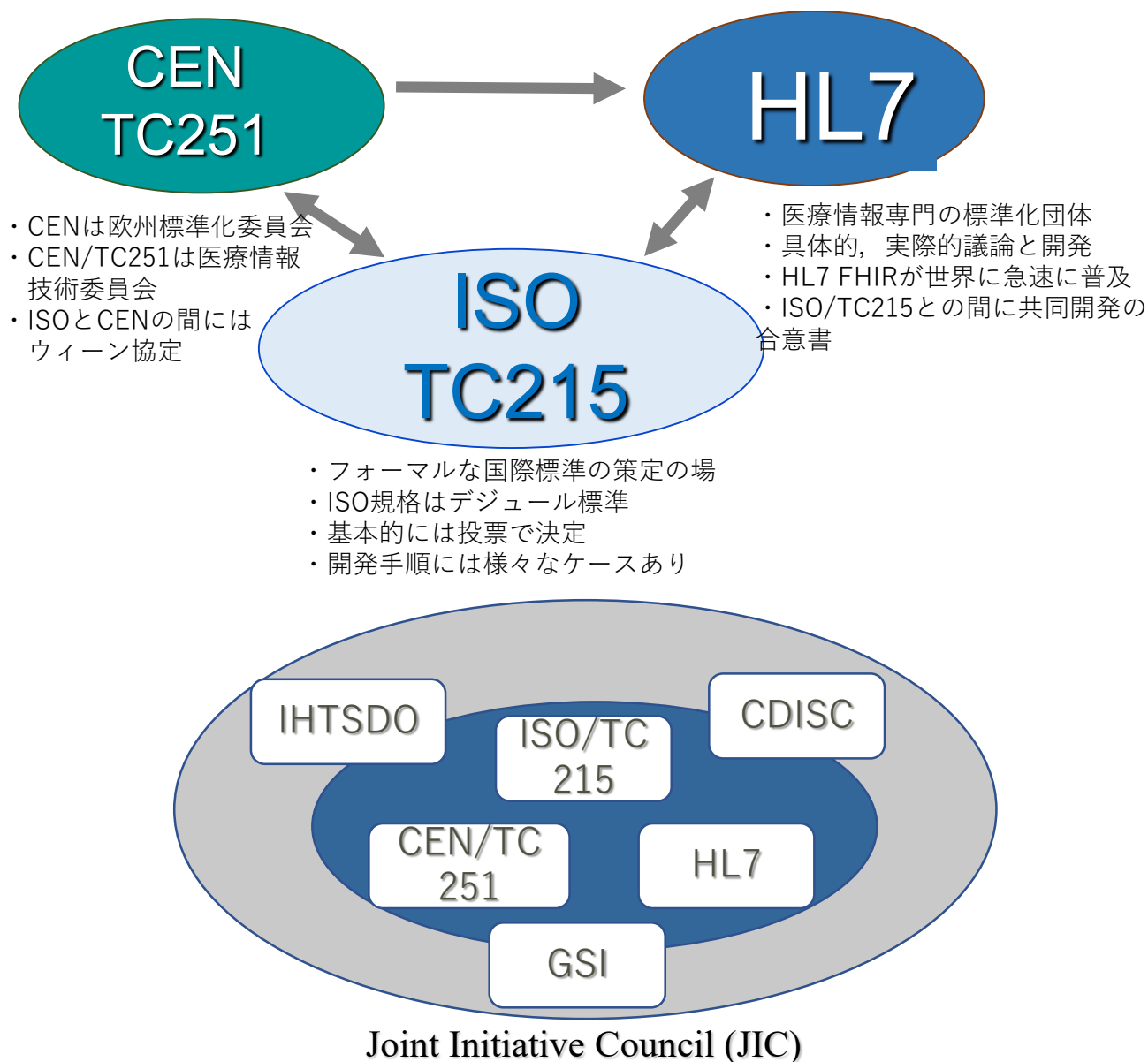
医療情報標準化指針カテゴリ (試案) -承認された分類ではありません

用語・コード	医薬品HOTコードマスター
	ICD10対応標準病名マスター
	臨床検査マスター
	患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター
	標準歯式コード仕様
	口腔診査情報標準コード仕様
	標準歯科病名マスター
	看護実践用語標準マスター
診療文書	患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書 (患者への情報提供)
	診療情報提供書 (電子紹介状)
	HL7 CDAに基づく退院時サマリー規約
	健康診断結果報告書HL7 FHIR記述仕様
	診療情報提供書HL7 FHIR記述仕様
	退院時サマリーHL7 FHIR記述仕様
処方等	処方・注射オーダ標準用法規格
	処方情報HL7 FHIR記述仕様

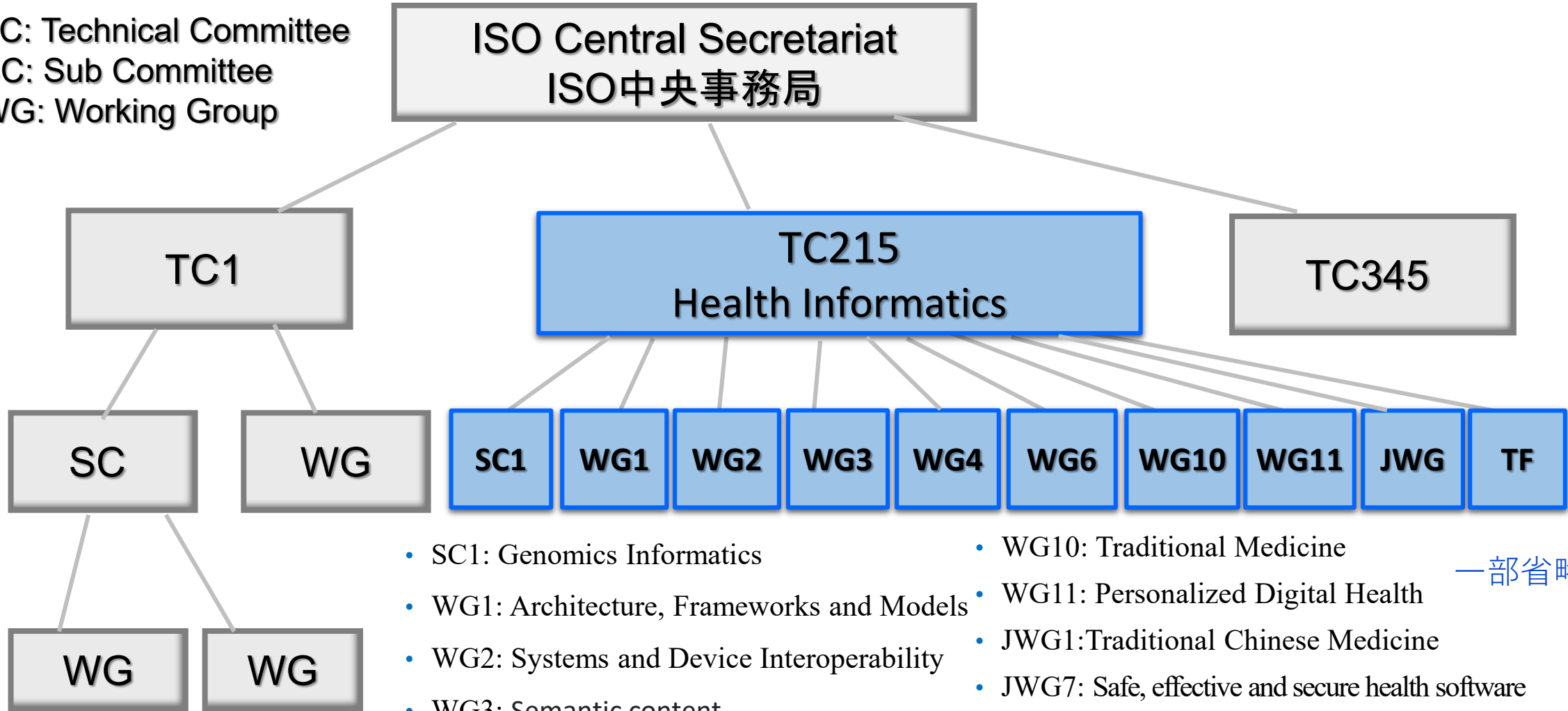
データ交換	JAHIS臨床検査データ交換規約
	JAHIS放射線データ交換規約
	JAHIS処方データ交換規約
	ISO 22077-1:2022保健医療情報 - 医用波形フォーマット - パート1: 基本規格
医用画像 IHE	IHE統合プロフィール「可搬型医用画像」
	医療放射線被ばく管理統合プロフィール
	医療におけるデジタル画像と通信 (DICOM)
	HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携指針 (JJ1017指針)
ガイド/ガイドライン	データ入力用書式取得・提出に関する仕様 (RFD)
	地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
	「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイド
	SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン

国際的な医療情報標準化組織とHELICS

- 医療情報の標準化は国際的にはISO (International Organization for Standardization) のTC215、HL7 (Health Level Seven)、CEN (European Committee for Standardization) TC251、DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine)、WHO (World Health Organization) などで行われている
- 我が国からもこれら国際標準化活動に参加し、我が国の立場を説明したり標準化提案を行っている
- 国内ではHELICS協議会会員である各団体がこれら国際標準の我が国への適用を検討し、我が国の実情にあった利用方法を整備し、必要に応じ我が国独自の標準化を行っている
- HELICS協議会会員団体は互いに協力しつつ、厚生労働省・経済産業省・総務省などと連携しながら医療情報標準の整備・開発に努めている
- 標準 (規格) は実際に利用し、実情に合わない部分には改良を加えながら発展させる必要がある



TC: Technical Committee
SC: Sub Committee
WG: Working Group



- SC1: Genomics Informatics
- WG1: Architecture, Frameworks and Models
- WG2: Systems and Device Interoperability
- WG3: Semantic content
- WG4: Security, Safety and Privacy
- WG6: Pharmacy and medicines business

- WG10: Traditional Medicine
- WG11: Personalized Digital Health
- JWG1: Traditional Chinese Medicine
- JWG7: Safe, effective and secure health software
- TF5: AI technologies in health informatics
- TF6: Process and quality improvement
- TF7: Telehealth and Virtual Care Standards

一部省略

体制 (設立1998)

Informatics: データや情報の科学

Committee Manager: Ms Rachel Hawthorne

Chair: Mr Michael Glickman (US) 2023年末まで

P-member(投票権あり): 35カ国

O-member(オブザーバ): 33カ国

スコープ：保健医療情報分野の標準化

Standardization in the field of health informatics, to facilitate capture, interchange and use of health-related data, information, and knowledge to support and enable all aspects of the health system.

ヘルスに係るデータ、情報、知識の取得、交換、使用を促進し、医療システムのあらゆる側面をサポートし実現するためのヘルスインフォマティクス分野における標準化

HELICS協議会 - 我が国の医療情報標準のハブとして

- 医療情報が必要なとき、必要な所で得られることで、診療、介護、データ分析、公衆衛生、そして災害時でのデータ利活用が可能に
- 世界でデジタルヘルスに向けた医療情報標準化の大きな流れ
- 相互運用性という言葉は多くの場合、システム間のことを指しているが、医療情報では組織や人も含めて考えられ、さまざまな場面で医療情報の活用を支えるのが相互運用性標準
- 相互運用性を達成するのに、さらに必要な医療情報標準は何か
- HELICS指針のさらなる充実・拡張をはかり、我が国の医療情報相互運用性を社会基盤として実現していく
 - HELICS協議会は我が国の医療情報標準のハブ
 - 標準化活動にご関心のある団体、個人にはぜひともHELICS協議会に入会いただき
 - ご一緒に標準化の推進をいただくようお願いしたい